

# ” ペデジャーなる ” Web

OB・OGと現役生を結びながら、懐かしさと新しさ香るつくばの風を、季節の便りとしてお届けしていきます。

## ” ペデジャーなる ” 2012年秋号

2012年12月19日



筑波大学メ - ルマガジン “ ペデじゃ - なる ” 2012年秋号



OB・OGと学生を結びながら、懐かしさと新しさ香る筑波の風を季節の便りとしてお届けしていきます。

## INDEX

### 1 ゆるっと、つくば～癒され手帖～

連載第六弾！初のトップ掲載です。つくばはすっかり秋めいて、色にあふれています。

### 2 休学 人生のモラトリアムの、モラトリアム？

今年度、国際総合学類にてその休学制度がガラッと変わってしまいました。人生のモラトリアム、どう過ごしますか？

### 3 スノードロップ

大学生の大きな関心事、恋愛。そんなイマドキ筑波大生の恋愛事情に迫る連載第一弾！

### 4 サークルの魅力

高校までの部活のようできて、やっぱり何か違う。そんなサークルの魅力とは...？

### 5 笑顔の鏡

お金を稼げる喜びと大変さを初めて知るアルバイト...。学生時代のアルバイト、どんな気持ちで取り組みま

したか？

## 6 宅通LIFE

しまった、ご飯がない！そんな事件はないけれど、宅通には宅通ならではの生活があります。

## 7 研究室の合宿

日本で、学生+長期休暇といえば合宿！といっても過言ではありませんよね。留学生にとって合宿とは...？

## 8 ペデあぶろーど座談会

ペデジャーなる初の編集員での座談会です！今回はロシアについて語ります。載せきれないのが残念...

# 🌻 1 ゆるっと、つくば～癒され手帖～

どうも。「ペデジャーなる」、今回は、ゆるっと、始めてみます。

はてさて、秋です。



筑波大にも、そういう季節がやってきたんですよ。にしても、いきなり、寒くなってしまって、みんな、風邪引いてます、うける。私は、火曜日、一限の授業に出て、公園でご飯食べて、おばあちゃんと犬、可愛いな、と思ってて、風邪引きました。はあ、学園祭も、なんだかんだ、終わって、みんな、落ち着きを取り戻して、それってなんか、私は寂しい。秋は、綺麗な色ばかりで、ぼんやりしてるだけで、包まれていきますな、これ癒し。気付けば、今年も、あとちょっと。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 小林加奈)

## 2 休学 一人生のモラトリアムの、モラトリアム？—

日本の大学生活といえば、人生のモラトリアム！一理あったり、なかったり。授業、課題、バイト、部活、サークル、etc. やりたいことをできる時間という意味では、長い一生の中とても貴重な期間になるのでしょう。

そんなモラトリアムのなかのモラトリアム、スーパーモラトリアム、そう、休学！休学するには家庭の事情、疾病など、様々な理由が挙げられるでしょう。しかしながら、長期休暇よりも長く、自由に自分の時間を持ちたいと考えて休学を考える学生もいるはずです。

しかしながら！二度目の反語ですが、この休学制度、わたくしが所属する国際総合学類では2012年度よりガラリと変わりました。

これは、決して現在の休学制度に異議を唱える記事ではありません。国際総合学類内では既に議論し尽された話題です。先生方が熟慮し、また、学生も声を上げ、お互いに意見交換の場も設けられました。この制度はたくさん卒業生も利用してきたはずですが、ご報告です、国際総合学類の自由なイメージを担っていたその制度がどうなったかの、ご報告です。

さて、入学時にもらったはずの履修要覧を開いてみましょう。“ 修学上の諸手続、2学籍、(5)学籍の異動、休学『病気、海外研修（留学の場合を除く）その他特別な理由により、引き続き2月以上修学することができない場合は、所属学群長の許可を得て休学することができます。』”なるほど。誰でも気軽にできるわけではないのですね。今年度から国際総合学類では休学の審査基準が見直されました。今でも長期海外インターンなどで休学は可能です。一方、旅行などは、学校側が海外に渡航した学生の安全を確認する術がないということで、おおむね不可能となりました。また、国立大学であるからゆえ、という理由もあるようです。確かに、私たち国立の学生はみなさまの血税で学びを享受しています。私立大学との大きな差です。そんな君たちがふらふらしてチャイカン！そういうことなのでしょう。耳が痛い！

私が受験生であった頃、国際総合学類の広報誌には、世界一周だの、なんだの、黒い肌に白い歯浮かばせるワイルドな学生がバーンと載っていたものです。これが大学生になってできることか、そう思って入学してきた学生は少なくないでしょう。それが、人生のターニングポイントになったかもしれないし、一生の宝物になったかもしれませんが。縁遠い話ですが、寂しく感じたのは事実です。

なんだかんだ知り合いの幾人かは、網の目をくぐってスーパーモラトリアムしています。ちゃんとしろよ。おっきくなって帰ってこいよ。そうしたらまた、門戸が広がるかもしれないからさ。

（社会・国際学群 国際総合学類 入江郁美）

### 3 スノードロップ♡



恋愛は、大学生の関心事の大半を占めていると言っても過言ではない気がします。私自身、男友達と「好き」ってなんだろうね、と語り合ったことも。周りの人に週にどのくらい会っているのか聞いてみると、下のような感じになりました。



「週1くらいですかね」と私が話すと、「それ大丈夫?」と先輩に心配されるレベルのようです。

筑波大生同士だと、アパートが近い分、会いやすいというのがあるためか多くの人は、頻繁に会っているか、お互いのアパートを行き来するか、はたまた一緒に住んでいるか...筑波大生ならではのお付き合いの仕方かもしれませんね。ただ、毎日会えるという状況は、相手の良い面も悪い面も浮き彫りになるものです。幸か不幸か、悪い面が沢山見えてしまった場合、別れる原因になってしまうこともあるでしょう。また、生活リズムの違いにより、すれ違いの生活になってしまって別れる場合もあるかもしれません。実際、身近にも短期間でいつの間にか別れている人たちもいます。

ところ変わって、カップルの出合いの場は、主にサークルが多いようです。時に5月末に行われるやどかり祭の企画、「ゆかたコンテスト」がきっかけという方もちらほら。たまたま同じ授業を取っていたのがきっかけでお付き合いに進展したという奇特な方もいらっしゃいます。

学年は、同い年かまたは男性が年上のカップルがほとんどのようです。女性の方が年上だ、というカップルはほとんど聞いたことがありませんが、これは、女性が頼りになる男性が良いと思っているからなのでしょうか。また、筑波大学内外で男女2人の組み合わせはよく見かけるものです。2,3学エリアの芝生、桜のカスミ、宿舍の出入り口で...などなど。自転車の2人乗りもよく見かける気がします(交通違反!?)。先月行われた学園祭でも、3日のうち、いずれかの日にそれぞれ彼氏・彼女と回っている様子が見て取れました。みんなに見つかって照れている感じの2人、隣にいたことが当たり前であるかのごとく仲良く回っている2人...様々なカップルがいましたが、どれを見るにつけても幸せそうでこちらの方が嬉しくなるものです。

ただ、一口に恋愛といっても幸せなこと、楽しいことばかりではありませんよね。時には辛いこと、悲しいこともあります。それでも、止められないのはなぜなのでしょうね。

恋愛に年なんて関係ないはず。もし先輩方が学生時代であればどうしますか、また今の先輩方ならどういったアドバイスをしますか。そんな観点で今後、私の記事を読んでもらえればと思います。

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 入田恵津子)

## 4 サークルの魅力



大学といえばサークルですよね？少なくとも今の私にはサークルはなくてはならないものです！というわけで今回は、私が思うサークルの魅力について書こうと思います。

私は現在日本の難民問題に取り組むボランティアサークルと、合唱団の2つのサークルに所属しています。

私は最初に挙げたサークルに入るまで、日本に難民がいることを知りませんでした。しかし半年活動してきて、たくさんのことを学び、考える機会を頂きました。例えば、私は一度英語から日本語への翻訳ボランティアを行ったことがあります。その時扱った文章にはパキスタンから来た難民の方が自国の紛争の辛い現状、そして日本に逃げてきてからも差別的な待遇を受けていることが書かれていました。その時、日本での難民の扱われ方をとてもリアルに感じたことで、難民の方々の実態をととても身近な問題に感じ、改めて私に何ができるか考えさせられました。また、このサークルに入ったことで同じ興味を持つ多くの筑波大学の仲間に出会えたことはもちろん、難民関連のイベントなどを通じて筑波大学以外の、難民問題に関わる多くの学生に出会うこともできました。

2つ目に挙げたサークルでは、高校時代から続けている合唱をやっています。みんな本気で合唱について考えているので、時にはぶつかりながらも良い音楽をつくるために頑張っています。最高の仲間にも恵まれたなとも思います。

これらの活動をきっかけにして、自分がサークルで行っていることに本気で取り組むことで、それについて真剣に考え、実践できる機会を多く得られると実感しました。またサークルをやっていることで、イベントなどで多くの人に出会うことができました。私は物事を知り、深く考えることや、人と出会い、多くの人と話して様々な考え方に触れるのが大好きなので、サークルの魅力を生かして、これからも積極的にサークル活動に参加していこうと思います。

では、また次号でお会いしましょう！

(社会・国際学群 国際総合学類 篠木菜月)

## 5 笑顔の鏡



9月から新学期が始まり、ある程度つくばの生活にも慣れた1年生は、この時期からアルバイトをスタートさせることが多いのではないのでしょうか？みなさんも大学時代アルバイトの経験があったかと思います。アルバイトにはどんな印象がありますか？楽しかった、つまらなかった、社会経験になった、なかには生きがいった、なんて方もいるかもしれません。

私自身は1年生の夏から飲食店でアルバイトを始めました。始めた頃はお金のためというのが一番の目的だったために、特に楽しくもないし嫌々ながら働いていました。アルバイトに楽しさなんて求めなくていいや、とにかく早く時給を上げてくれないかな～、あぁ今日もシフトが入っている...なんて思いながらアルバイトをして早1年。1年経つと、後輩がどんどん入ってきて先輩という立場になった私は、重大な仕事もするようになりました。一番重大な仕事がレジでした。レジはその日一日同じ人が担当するので、差額が出たら完全に自分のミスというのがわかってしまうのです。そんな責任のある仕事を任せられても、やる気もあまり無いし困るよ...とっていたある日店長にこんなことを言われました。



『レジは店の顔。お客さんの顔は君の顔の鏡なんだ。だから君が笑顔になるとお客さんの顔も笑顔になるんだよ。』

その瞬間自分の中で何かが変わったのです。意識して笑顔を作ってみるとなんだか本当にお客さんの顔も笑顔が多い気がする！そんなことに気付いてからは自然と自分から笑顔になって、アルバイトに楽しさとやりがいを感じるようになりました。

アルバイトの魅力にはまりすぎてしまい、だんだんと学校に行かなくなってしまう友人を見た方も多いのではないかと思います。やりすぎは良くないですが、大学では得られない、しかし大学生活でしかできないのがアルバイトです。自分を成長させてくれる大切なものとしてこれからの人生にきっと役立っていくことでしょう。



(人間学群 障害科学類 岡山未季)

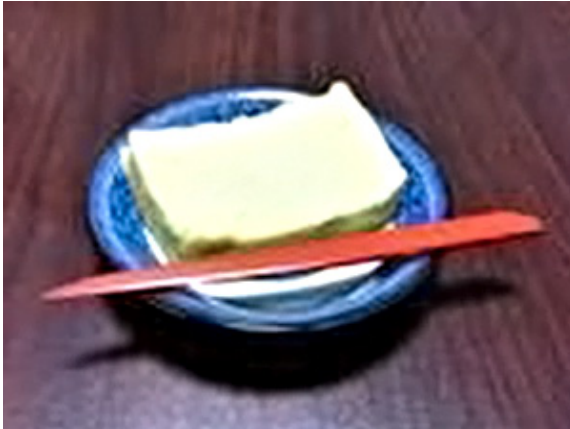
## 6 宅通 LIFE



私はつくばで生まれ、つくばで育ち、現在自宅から筑波大学に通う1年生です。宅通だと言うと、家に帰れば温かい夜ご飯が待っていて、料理や洗濯などの家事をやらなくていいから羨ましいよね、と大学の友達によく言われます。たしかに1年生の宿舎やアパート暮らしの友達が慣れない料理、洗濯などを頑張っているのに対して、私は料理などをほとんどせずに自宅でのんびりと暮らしています。「冷蔵庫を開けたら空っぽで食べるものがなかったー(笑)」とか「レトルト食品で何とか暮らしてるよー。」という言葉を聞くと、「あぁ、私はなんて楽な生活をしてるんだろう！」と思うこともあります。けれど私にとって、夜遅くに集まって遊んだり、ご飯を食べに行ったり、料理をこなして立派に一人暮らししている友達はなんだかかっこいいし、憧れるし、羨ましいなぁと思ったりもします。

宅通ってちょっと寂しいなーと思っていた、そんなある日。私がさつまいもを使った料理がどうしても食べた

くなり、「芋ようかんが食べたいなあー。」と呟くと、「さつまいもあるから一緒に作って食べよう!ついでに夜ご飯も一緒に。」と同じサークルの友達が誘ってくれました。そんなこんなで急遽、その友達の部屋で芋ようかん&高菜チャーハン作りがスタートしたのでした。その日はサークルがあったので作り始めたのは夜の10時過ぎ。芋ようかん作りで一番大変なのはレンジでチンしたさつまいもを裏ごしする作業です。これが時間のかかること、かかること!夜ご飯の高菜チャーハンを食べつつ、ひたすら裏ごしすること1時間あまり。裏ごしが終わればあとは容器に裏ごしをしたさつまいもをぎゅっと詰めて冷蔵庫で冷やして完成です。結局芋ようかんを食べたのは夜中の1時頃。でも苦労して作った芋ようかんは本当においしかったです!



宅通の私は滅多に自分で料理はしないし、ましてやそんな遅い時間に料理することはなかったけれど、友達とワイワイ言いながら作るのは楽しかったし、芋ようかんと高菜チャーハンもとってもおいしかったです。その日は宅通の私がアパート暮らしの友達の生活を初めて味わうことのできた1日でした。

(人文・文化学群 比較文化学類 柳下茉輝)

## 7 研究室の合宿



日本の人々は合宿という経験がよくあるでしょう。部活が集中練習するため、合宿に行く人や、会社の新人研修も合宿という形式で行うなど、合宿が生活上に普通に存在していると思います。私は日本に来てから、初めて合宿の経験がありました。今まで思っていた合宿のイメージと異なります。

私は今属している生涯学習・社会教育研究室が毎年の夏ごろに合宿に行く慣例があります。今年8月の29日と30日に那須青少年自然の家に一泊二日の合宿がありました。今回は私が合宿に行くのが二回目なんですけど、私にとって初体験とも言えます。なぜかと言うと、今回は私が初めて合宿を担当したからです。合宿が完全に行われるためにどのぐらい配慮すべきかが今回の経験を通して、わかりました。例えば、出発前の行き先の予約、交通手段、持つべき品物などをみんなにお知らせします。そして、一泊二日の合宿に何をやるかというプログ

ラムを作成しなければならないです。みんなに合宿に参加する間にいつでもやることができるようにスケジュールも考えないといけません。これらの作業は私にとって、大切な初体験でした。

一泊二日の合宿のスケジュールに各自の研究発表をメインしていましたが、娯楽といえるプログラムは29日の夕食だと思います。その日の夕食はジンギスカンのバーベキューでした。薪を燃えて、釜で白いご飯を作ったり、ジンギスカン、野菜を焼いたりしました。食べる場所も野外にある木のテーブルと木の椅子でした。現代の生活の中に自然の中で薪を燃えてから、夕食の出来上がるまでの経験がなかなかできないと思います。そして、野外炊飯の始まりから片付けるまで、普段ほとんど料理しないみんながお互いに協力して、頑張っている姿が一生の思い出になりました。出来上がったご飯がちょっと硬かったが、野菜もちょっと焦げていたけど、自分の手で作った料理なので、とても美味しかったです。



そして、飲み会も合宿の恒例のプログラムです。こういう機会だけで、みんなが研究以外の話ができます。なので、みんながそれを大切にして、深夜まで続いていました。とても、楽しかったです。

今まで、私は合宿の意味がずっと理解できなくて、参加しても、積極的な気持ちを持っていませんでした。今回は私が責任者として合宿に参加して、違う身分から合宿の意味を味わいました。みんなが何かをやるときにお互いに協力し、そして、お互いに親睦を深めることが合宿の意味だと思います。

(人間総合科学研究科 教育学専攻 于森)

## 8 ペデあぶろーど座談会



みなさん、こんにちは！

今回はペデジャーなる初のメルマガメンバーでの座談会です！

関崎に引き続き、亀川と野川も今年9月22日～29日に行われたモスクワ実習に参加し、モスクワのあれこれを経験してまいりました。春号よりも少しだけパワーアップしたモスクワの情報をお届けします。



## ロシアの不思議な飲み物

関：空港で自販機見ると感動するよね！他では見ないから。

亀：あー！確かに他の所には全然ないよね！

関：なんか最後にテンションあがって、クバス買った(笑)亀・野：くばーす？

関：クバスってあの、パンの香りのする飲み物

野：えっ えええ 何??

亀：パンの？パン？

関：レーズンパンの匂いのする、ロシアで有名な飲み物なんだって。みんな普通に飲むみたい。レーズンパンをそのまま凝縮してジュースにしたみたい

亀：しかもパンを凝縮するの！?(笑)

野：レーズンだけじゃないの！?(笑)

関：うん、そうそう(笑)よくわかんないけど、とりあえずパンが原料！

野：パンが原料(笑)

亀：面白いね(笑) 私たちモルスしか飲んでないな

関：あー、モルスがベリーとかのジュースだね。パンのジュースあれ飲まないと損してたよ(笑)

亀・野：えー(笑)

野：あ、でも白樺のジュースがあるからみたいな話はした！美味しいの？

関：あー！あるあるある！美味しいよ！なんか、甘い...水みたいな

亀・野：水(笑)

関：

テレモク(ロシア料理のチェーン店)によく行ったんだけど、テレモクのジュースが独特の味で好きじゃなかったんだよね...。梨のジュースを飲んだんだけど、

煙くさくて(笑)もう二度と飲むか！！って思って。でもテレモクの白樺ジュースは美味しかったから、安全だなんて思った記憶が(笑)

亀・野：(笑)

**ロシアの地下鉄**野：地下鉄はね、超びくびくしながら乗ったよね(笑)

亀：うんうん、あんなにみんなに言われたからね。どうやってドア閉まるんだろうって思って(笑)本当にすごかった！

関：私が行ったときに、あの扉に友達が足挟まれたんだけど、ガッってすごい勢いで平然とぬいてた(笑)



ベリーのジュース、モルス。これ、なんとホットでも飲むのです...!

慣れてる感じだったなー

亀・野：(笑)

野：私たちが行ったときは、先生が挟まれそうになってすごい勢いで逃げてたよ！

関：怖いよね(笑)

亀：でもその代わり駅はすごく綺麗だよな！駅がここは！？って思った(笑)ただ、地下鉄のエスカレーターすごい長いし早いね

関：あれ早いし便利だけど混んでるとつらいんだよな...

亀：うんうん。しばらくすると慣れるんだけど、そしたら逆に日本のエスカレーターの優しさにびっくりしたよね！

野：うん、ゆっくりだし短いし...なんだかかわいいよね(笑)

関：地下鉄も電車も日本のはやさしいよね。

亀：日本のはすごい静かだしね！

関：うんうん。ロシアのは窓あいてたりするし、やっぱりドアが怖い！(笑)

野：あ、でも新しい車両はちゃんと優しくドア閉まるよね。...閉まる合図はないけど(笑)

関：新しいのも古いのも、閉まる合図って外側についでる赤いランプだけだよな。

亀：内側から見えないし音もしないんだよな。

関：あんまり意味ないよね(笑) 3月に行ったときは日本人二人だったから、乗るタイミングとか、ラッシュのときとか大変だった...ロシアの電車のドアって、一定時間で必ず閉まるから、まだ乗る人いるしスペースもあるのにドア閉まっちゃって(笑)効率悪いよね...

野：なんでそこで閉まっちゃうの！ってなるね(笑)

亀：でもそのせいか地下鉄はすごい本数多くてびっくりした！

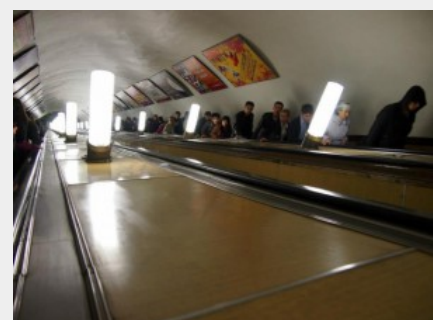
野：だね！山手線並みに来るよね。あとは回数券も便利だったなあ。安いし。

亀：うんうん。地下鉄ならどこで降りても料金一律っていうのがいいよね！

関：あのカード薄っぺらだけどすごいよね。バッグの中で探すの大変だけど(笑)



構内は駅によってデザインが違います。この駅はステンドグラスが並んでいました。



地下鉄のエスカレーター。乗っているだけで2分くらい経ちます。長くて先が見えない...

野：うんうん。あ、でもレシートみたいな切符はもっと困ったよね...

亀：地下鉄じゃない電車の切符がまるっきりレシートだったんだよね。存在感ないし毎回探しちゃって...。一回本当に見つからなくて駅員さんに通してもらっちゃった。

野：あれわかんなくなるんだよね。ロシア語読めないし、1回だけしか使えないやつと2回使えるやつと2種類あるのに見た目は同じだし。2回使えるやつは学校帰りに買って使って、翌日の朝にまた使うから余計わかんなくなったね。

関：それは大変だなあ...。それに比べたら地下鉄の回数券は見つけやすいね(笑)

亀・野：だよ(笑)

いかがでしたか？本当はもっと伝えたいことがあるのですが、誌面の都合上、割愛させていただきます...

それにしても、やはり海外に行くのは良いですね！この記事を読んで、少しでも海外気分を味わっていただけたら嬉しいです。

今度はどこの座談会ができるかな...

(人文・文化学群 日本語・日本文化学類 亀川かすみ・関崎美久・野川佳奈代)



## 編集後記

大学のイチョウもすっかり色づき、落ち葉掃除が大変になってきた今日この頃...やっとな秋号をお届けすることができました。4人の新メンバーを迎えての秋号、楽しんでいただければ幸いです。

さて、ここで筑波大学よりお知らせです。このたび、筑波大学校友会のホームページがオープンいたしました。筑波大学OB・OG、現役生から教職員まで、筑波大と関係のある方限定で参加できるSNSです。懐かしい同期生や先生方との交流、同窓会の企画、現在の大学の情報取得などにぜひぜひご活用ください！また、コミュニティーサイトにはペデジャーなるバックナンバーも置いてあります。詳細はリンク先をご確認ください。

筑波大学校友会サイト:<https://alumni.tsukuba.ac.jp>

筑波大学 facebook:<https://www.facebook.com/univ.tsukuba.ja>

## 編集・発行

「ペデジャーなる」編集ワーキンググループ



デザイン・配信作業

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 関崎美久

情報学群 情報メディア創成学類 酒井佑弥



ご意見・問い合わせ先

国立大学法人筑波大学 連携・渉外室

〒305-0821 茨城県つくば市春日1-8-3筑波大学春日プラザ1階

TEL:029-853-2030 FAX:029-853-6576

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)



配信停止をご希望の方

下記メールアドレス宛に『配信停止希望』の旨明記し、送信してください。

[gakuyu@un.tsukuba.ac.jp](mailto:gakuyu@un.tsukuba.ac.jp)

---

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

Copyright © 2012 University of Tsukuba. All Rights Reserved.

---